



左《馬込の月》東京二十景 1930(昭和5)年 右上《西伊豆木負》1937(昭和12)年6月 右下《芝増上寺》東京二十景 1925(大正14)年 すべて渡邊木版美術画舗蔵

2024年
7月11日(木) ▶ 8月25日(日)

- 開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 - 休館日 月曜日(7/15[月]と8/12[月])は開館し、7/16[火]と8/13[火]は休館)
 - 観覧料 一般:1400(1200)円、高大生:800(600)円、小中生:500(300)円
- ※()内は前売り、または20人以上の団体料金。
 ※障がい者手帳をご提示の方と付添者1人の観覧料は当日料金の半額。
 ※土曜日、日曜日(午前中)は中学生以下の入館が無料。
 ※山形美術館キャンパスメンバーズ制度登録校の学生は学生証の提示により無料。

【前売り券取扱所】
 山形新聞・山形放送本社、支社、山形新聞販売店、山形美術館、チケットぴあ(Pコード:686-975)、
 ローソンチケット(Lコード:22085)、セブン-イレブン(セブンチケット)、e+(イープラス)、ファミリーマート、
 楽天チケット(https://r-t.jp/kawasehasui_2024)

- 主催 催=山形新聞・山形放送、山形美術館
- 共催 催=山形県、公益財団法人山形県生涯学習文化財団
- 後援 援=山形県教育委員会、山形県芸術文化協会、山形市、山形市教育委員会、山形市芸術文化協会
- 特別協力=渡邊木版美術画舗 □資料提供=大田区立郷土博物館 □企画協力=ステップ・イースト

山形美術館
Yamagata Museum of Art

山形新聞・山形放送 8大事業
山形美術館開館60周年記念

旅と郷愁の風景

川瀬巴水

KAWASE HASUI
Travel and nostalgic landscape



大正から昭和にかけて活躍した木版画家・川瀬巴水(1883-1957(明治16-昭和32)年)。近代化の波が押し寄せ、街や風景がめまぐるしく変貌していく時代に、巴水は日本の原風景を求めて全国を旅し、庶民の生活が息づく四季折々の風景を描きました。巴水とともに木版画制作の道歩んだのが、新時代の木版画「新版画」を推進した版元の渡邊庄三郎(現・渡邊木版美術画舗初代)や彫師、摺師といった職人たちです。四者は一体となって協業し、伝統技術を継承しながらもより高度な技術の活用を求めました。そして新たな色彩や表現に挑み続け、「新版画」をけん引する存在として人気を博します。

本展では、季節や天候、時の移ろいを豊かに表現し「旅情詩人」とも呼ばれた川瀬巴水の画家としての生涯を、初期から晩年までの代表的な作品とともに紹介します。まとめて見る機会の少ない連作(シリーズ)も含む約180点に加え、当地ゆかりの作品《山形 山寺》(1941(昭和16)年)を山形会場限定で展示し、叙情的な巴水の世界へといざないます。

関連イベント(要観覧料) 詳細は山形美術館ホームページをご覧ください。

① 記念講演会「川瀬巴水の版画世界」

巴水の生涯を中心に、版元・渡邊庄三郎との出会い、新版画の制作活動等に触れながら巴水の版画世界を紹介します。

日時：7月14日(日) 13:00-14:30

講師：岩切信一郎(美術史家) ※先着 80人

② 新版画の摺りの実演

本職の摺師による新版画制作における摺りの実演をご覧ください。

日時：7月21日(日) 13:00-14:30

摺り：渡辺英次(摺師)

解説：渡邊章一郎(渡邊木版美術画舗代表取締役)

③ 親子で楽しむナイトミュージアム

日時：8月10日(土) 18:00集合、18:30開始

ナビゲーター 黒木あるじ(怪談作家)

※事前申し込み(先着20人、中学生以下は保護者同伴)

④ 担当学芸員によるイチ押しトーク

日時：7月18日、8月1日、15日(各木曜日) 11:00-

①、②、③は事前申し込み不要です。④は山形美術館(023-622-3090)までお申し込みください。

【おトクな割引キャンペーン】 ※他の割引との併用はできません。

8月3日(土)~15日(木)は「浴衣割」として浴衣や着物でご来館の方は当日料金より100円引き。

旅と郷愁の風景 KAWASE HASUI Travel and nostalgic landscape



1. 《山形 山寺》1941(昭和16)年
 2. 《松嶋双子嶋》日本風景集 東日本篇 1933(昭和8)年12月
 3. 《十和田子之口》日本風景集 東日本篇 1933(昭和8)年7月
 4. 《日本橋(夜明)》東海道風景選集 1940(昭和15)年
 5. 《平泉金色堂》1957(昭和32)年
- ※すべて渡邊木版美術画舗蔵



川瀬巴水 1939(昭和14)年7月
大田区立郷土博物館蔵

「新版画」とは？

大正から昭和にかけて興隆した多色摺り木版画です。浮世絵版画の伝統技術を継承しつつも新しい表現を取り入れ、絵師、彫師、摺師、版元による協業で制作されました。

スティーブ・ジョブズも魅了した巴水

アップル・コンピュータの共同創業者スティーブ・ジョブズは、日本の新版画を愛し、特に川瀬巴水はお気に入りの作家でした。本チラシ表面右上の《西伊豆木負》はジョブズが購入した中にもあった作品です。



■ 交通案内
 徒歩/JR山形駅東口から徒歩15分
 バス ベニちゃんバス「中心市街地」行き
 霞城公園前下車徒歩4分
 車/JR自動車道山形蔵王I.C.から約15分
 山形美術館北側に無料駐車場がございます。
 有料の提携駐車場はございません。

■ 問い合わせ先
 展覧会について 山形美術館/023-622-3090
 チケットについて 山形新聞社事業部/023-642-7955

山形美術館
 990-0046 山形市大手町1-63
www.yamagata-art-museum.or.jp